

図書だより 6月号



令和3年 名瀬小学校図書館



すこ あめ ひ へや なか ほん よ じかん
少しずつ雨の日がふえてきました。部屋の中で本を読む時間もふえていますか？(ふえて
いるといいな。)さて、今年も読書感想文コンクールの課題図書が届きましたので、コ
ンクールのきまりとともにお知らせします。

☆読書感想文コンクールのきまり

『趣旨(コンクールのねらい)』

- こ ほん した きかい どくしょ たの し どくしょ しゅうかんか はか
・子どもが本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさを知り、読書の習慣化を図る
- どくしょ かんどう ぶんしょう とお かんが ちから はぐく
・読書の感動を文章にすることを通して、考える力を育む

『応募区分』

- しょうがっこう ていがくねん ぶ ねんせい
①小学校 低学年の部 (1・2年生)
- しょうがっこう ちゅうがくねん ぶ ねんせい
②小学校 中学年の部 (3・4年生)
- しょうがっこう こうがくねん ぶ ねんせい
③小学校 高学年の部 (5・6年生)

『用紙』 原稿用紙

じづ
(400字詰めでもよい)

『字数』 低学年は 800字以内

こうがくねん じ いない
高学年は1200字以内

じすう わり たっ さくひん せんがい
※字数の9割に達していない作品は、選外になります。

くどうてん じすう
句読点と「 」も字数とみなされます。

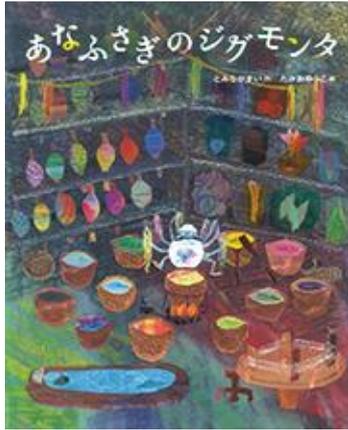
だいめい なまえ わくがい か
題名と名前は、枠外に書きます。

『対象図書』

- じゅう どくしょ じゅう えら としょ きょうかしょ ざっし るい
①自由読書・・・自由に選んだ図書 (教科書や雑誌、パンフレット類は
たいしょうがい きょうかしょ の もと
対象外となります。教科書に載っていて、その元となる
さくひん よ か ばあい もんだい
作品を読んで書いた場合は問題ありません)

- かだい どくしょ しゅさいしゃ してい としょ がくねんべつ しょうかい
②課題読書・・・主催者が指定した図書 (学年別に紹介します)

ていがくねん む かだい としよ
低学年向きの課題図書



『あなふさぎのジグモンタ』

とみながまい 作 / たかおゆうこ 絵

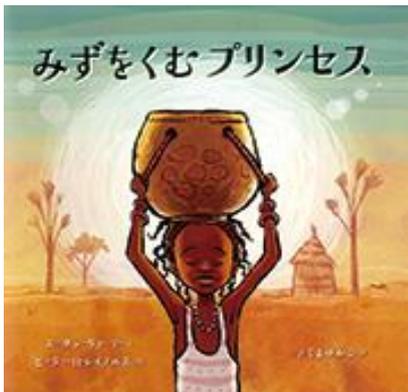
あながあいてしまったからって、着^きなくなったズボンやくつしたはないですか？ あなふさぎやジグモンタにおまかせください！ ものを大切^{たいせつ}に使う^{つか}って、うれしいよ。ものづくり^{ものづくり}の楽しさ^{たのしみ}も伝える^{つた}物語^{ものがたり}。



『そのときがくるくる』

すずきみえ 作 / くすはら順子 絵

たのしみ^{たのしみ}な給食^{きゅうしょく}の時間^{じかん}、きれい^{きれい}な食べもの^{たべもの}が入^{はい}っていて、こまったことはありませんか？ この物語^{ものがたり}を読^よむと、きれい^{きれい}な食べもの^{たべもの}も、食^たべてみたくなるかもしれません。食^たべられるようになる^{たべられるよう}そのとき^{そのとき}が、きつ^{きつ}とくるはず^{はず}です。



『みずをくむプリンセス』

スーザン・ガート 文 / ピーター・H・レイノルズ 絵

みずは、まいにち^{まいにち}くみにい^いくもの。ど^どんなにたいせつ^{たいせつ}か、プリンセス・ジージーはよくし^{よく}っています。だ^だから、ねが^{ねが}います。だれも^{だれも}が、いつ^{いつ}でも、きれい^{きれい}であんぜん^{あんぜん}な水^{みず}をつか^{つか}えるようになります^{なりますよう}に。いつ^{いつ}のひか^{ひか}きつ^{きつ}と。



『どこからきたの？おべんとう』

すずき 鈴木まもる 文と絵

のうか^{のうか}農家^{りょうし}のひと、漁師^{うんてんしゅ}さん、トラック^{トラック}の運転手^{うんてんしゅ}さん……みんなの愛情^{あいじょう}いっぱい！ ポテトサラダ、おにぎり、バナナ……おべんとう^{おべんとう}の中身^{なかみ}は、どこ^{どこ}でできて、どう^{どう}やって運^{はこ}ばれてきたの？ 楽しく学^{たの}べる絵本^{まな えほん}です。

ちゅうがくねん む かだい としよ
中学年向きの課題図書



『わたしたちのカメムシずかん』

すずき かいか さく
鈴木海花 作

くさい^{むし}虫、カメムシ。学校^{がっこう}のまわりで探したら、35種^{しゅ}も見つ
かった。宝石^{ほうせき}みたいなカメムシもいたよ。どんな^{ずかん}図鑑がで
きるかな？ほんとうにあったお話し^{はなし}です。



『ゆりの木荘の子どもたち』

とみやすようこ さく
富安陽子 作

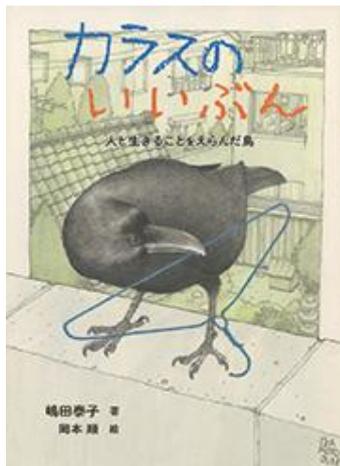
77年前^{ねんまえ}の「あの子」との約束^{やくそく}をはたすため——。突然^{とつぜん}、子
どもになってしまったゆりの木荘^{きそう}のおばあさんたちの、時^{とき}を超
えたファンタジーです。



『ぼくのあいぼうはカモノハシ』

ミヒヤエル・エングラール さく
作

ドイツにすむ男^{おとこ}の子ルフスは、動物園^{どうぶつえん}からにげだしたカモノ
ハシにたのまれ、オーストラリアに帰^{かえ}るのを手伝^{てつだ}うことに
…！ ゆかいな冒険^{ぼうけん}物語^{ものがたり}です。



『カラスのいいぶん 人と生きることをえらんだ鳥』

しまだ やすこ さく
嶋田泰子 作

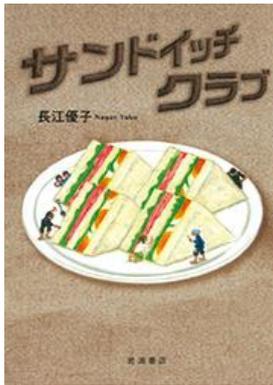
カラスには、毎日時間割^{まいにちじかんわり}があるって知^しっていますか？ 遊^{あそ}
びを発明^{はつめい}したり、子育て^{こそだ}をがんばったり……知^しれば知^しるほ
ど、カラスっておもしろい！ 知^しる、調べる^{しら}る^{たの}楽し^{たの}さがいっぱい
の1冊^{さつ}です。

こうがくねん む かだい としよ
高学年向けの課題図書



『エカシの森と子馬のポンコ』 加藤多一 作

ぼくじょうからにげ、もり きで気ままにくらす子馬のポンコ。長老のき・エカシと不思議なカメムシがポンコの友だち。のびやかに日々を過ごし、ポンコがおとなになるようすをやさしいまなざしで描きます。



『サンドイッチクラブ』 長江優子 作

たまごはダブル塾通いの小学6年生。そこでべつの学校のせいせきゆうしゅうであ、せいかく、せいかつかんきょうが、たがいを認め成長していく。砂を削って像をつくる「サンドアート」が出てきます。



『おいでアラスカ』 アンナ・ウォルツ 作

てんこうせい転校生のスフェンはパーケルをからかうイヤな男の子。けれど、むかしか、だいすきなアラスカがスフェンのかいじょけんと知り、こうどうをおこします。はんもく、あ、ふたり、ゆうじょう、かぎ、アラスカがにぎっています。



『オランウータンに会いたい』 久世濃子 作

ボルネオ島の深い森の中、高い木の上で孤独にくらすオランウータン。20年近くオランウータンを追いつづける著者が、れいちょうるいけんきゅう、みらい、つく、ちえ、みりよくてきフィールドワークを通じて伝えます。

しょうかいぶん どくしょかんそうぶん ぜんこく こうしき ばっすい
* 紹介文は「読書感想文 全国コンクール公式サイト」より抜粋